

小学校教育実習ガイダンス資料（3年生対象）

◆配布資料（一式入っているか確認してください）

①小学校教育実習希望調査書

⇒4月14日（金）16：40までに教育支援課こども発達学科窓口へ提出。

②教育実習希望調査書記入要領⇒①の記入・提出方法が書いてあります。

③令和5年度小学校教育実習校開拓・訪問結果報告書

⇒6月16日（金）16：40までに教育支援課こども発達学科窓口へ提出。

④教職関係科目単位確認票⇒提出の必要はありません。各自ご活用ください。

1. 3年次の課題

- 3年次終了時点で「教育実習履修基準」を満たすように科目の修得をする
- 次年度の教育実習に向け、出身校に実習依頼を行う
（ただし、札幌市、江別市、小樽市の公立小学校の出身者は行わない（一部道外も））
- 教員採用候補者選考検査（4年時の6月中旬ごろ）に向けた本格的な勉強

2. 教育実習履修基準

本学では4年次で「教育実習」を履修するにあたり、下記に示す履修基準を満たす必要があります。

①3年次終了時まで次の条件を満たしていること。

【卒業要件に係る基準】

教養科目	専門科目（※）	総単位数
卒業要件を満たすこと （英語ⅠB、英語ⅡB、コンピュータ基礎A、日本国憲法、スポーツAの単位を含む）。	以下の科目を単位取得していること。 教育学概論（小）、教職入門（小）、学校経営論（小）、地域連携マネジメント、子どもの発達と教育、特別支援教育論（小）、教育課程論（小）、道徳の理論と指導法（小）、総合的な学習の時間の指導法、特別活動の指導法、教育方法・技術論（小）、生徒指導・進路指導論、教育相談（小）、国語科指導法、社会科指導法、算数科指導法、理科指導法、生活科指導法、音楽科指導法、図画工作科指導法、家庭科指導法、体育科指導法、小学校英語指導法、介護等体験	100単位

※専門科目のうち、「教育の基礎的理解に関する科目等」、「各教科の指導法」及び「介護等体験」を示す。

- ②小学校教職課程科目（教科に関する専門的事項）については、1つ以上選択し10単位以上修得していること（国語概説、音楽、図画工作、子どもの体育はⅠとⅡの両方で1つの科目としてみなす）。
- ③4年次に「教職実践演習（小）」を履修登録すること。
- ④教員採用候補者選考検査を受検すること。

★3年次終了までに以下が満たされるか確認してください。

教養科目を24単位以上修得している

全部で100単位以上修得している

単位確認票の「教育実習」「教職実践演習（小）」以外の必修科目をすべて修得している

小学校教職課程科目（教科に関する専門的事項）を10単位以上修得している

（国語概説、音楽、図画工作、子どもの体育はIとIIの両方で1つの科目としてみなす）

⇒例えば、国語概説Iを取っていて国語概説IIを取っていない場合はカウントされません。

両方修得していれば4単位としてカウントされます。

3. 教育実習に向けて

(1) 次年度教育実習履修にあたっての手続き ※期限厳守！！遅れた場合は対応できません。

同封の**教育実習希望調査書**に記入し、**4月14日（金）**までに教育支援課こども発達学科窓口へ提出してください。誤字・脱字等のある場合には、訂正印は使用できません。書き直しになります。また、写真は**貼らず**に持ってきてください。窓口でチェックをしてから貼ってもらいます。

提出方法詳細、記入方法、記入例は別紙「教育実習希望調査書記入要領」を確認してください。

(2) 2024（令和6）年度教育実習希望者の審査…2023年5月

期日までに教育実習希望調査書を提出した学生について、**2年次までの単位修得状況+3年次の履修登録の内容（単位修得されたとみなします）が履修基準を満たすかどうか**を中心に審査を行います。必要に応じて面接を行う場合もあります。前期履修登録時に履修基準を満たすように履修登録しておく必要があります。

第1次審査で不合格の場合は、4年次での教育実習は認められません。不合格者に対しては、個別に情報ポータル等で通知します。すでに実習校の内諾を得ている場合は、大学と本人が、速やかに実習校に対して実習辞取り止めの手続きをとることになります。

(3) 実習希望校への依頼⇒**第一次審査後！実習校によって対応が変わるので注意**

第一次審査で合格の通知を受けた学生は、実習希望校を訪問するか、電話にて実習依頼を行い、内諾を得た上で、「**令和6年度小学校教育実習校開拓・訪問結果報告書**」を6月16日（金）までに教育支援課こども発達学科窓口まで提出してください。

→実習校の都合によっては、訪問できない可能性もあります。訪問する場合は勝手に訪問せず、あらかじめアポイントメントを取り、失礼のないよう行動してください！

<実習校>

- ・実習校は原則として出身小学校とします。
- ・実家の転居等により出身小学校での教育実習が困難な場合は、速やかに教育支援課に申し出てください。

<札幌市、江別市、小樽市での教育実習について>

- ・札幌市、江別市、小樽市の公立小学校での教育実習生の受け入れは、大学が教育委員会等に依頼することとなります。よって、実習希望校への依頼は必要ありません。**札幌市、江別市、小樽市の公立小学校への連絡は絶対に行わないでください。**

(一部、道外も別途依頼の可能性があるため、実習校については事前に教職課程窓口にご相談するようにしてください。)

<留意事項>

- ・実習依頼が断られた場合は、速やかに教育支援課こども発達学科窓口までご連絡ください。
- ・実習依頼の時期が第一次審査通知後では遅いと分かっている場合は、速やかに教育支援課こども発達学科窓口までご連絡ください。

(4) 大学による実習希望校への依頼

実習内諾を得られた学生については、大学から実習希望校に内諾依頼を行います。実習希望校から内諾書が届きましたら、随時実習予定者に連絡します。連絡を受けた者は速やかに実習予定校へお礼の連絡をし、実習に必要な準備について指示を請います。必要がある場合は実習校への訪問を行います。

(5) 2024（令和6）年度教育実習希望者の審査（中間審査）…2023年10月

3年次前期までの単位修得状況と後期の履修登録の内容により、教育実習履修基準に基づいて審査を行います。必要に応じて面接を行う場合もあります。

(6) 2024（令和6）年度教育実習希望者の審査（最終審査）…2024年3月

3年時の成績が確定したら、教育実習履修基準に基づいて審査を行います。必要に応じて面接を行う場合もあります。ここで合格となった学生について大学から実習校へ正式に依頼します。実習校との事前打ち合わせ等、詳細については1月の「教育実習事前ガイダンス」で説明予定です。

4. 教員採用検査に向けて

すでに始めている学生もいるかと思いますが、3年次は教員採用検査に向け本格的に準備をしていかなければなりません。

なお、教員採用試験の受験は教育実習の履修基準の1つでもあるので、必ず受験してください。北海道・札幌市以外の地域の受験でも構いません。受験倍率は地域によって異なります。

学内で行われる「小学校教員採用試験対策講座」（東京アカデミー）をぜひ活用してください。プロの講師の方を大学にお呼びして講座を行っているほか、サービスで模擬試験を複数回受験することができます。今年度は新型コロナウイルスの影響により遠隔での実施となる可能性が

あります。詳細は情報ポータルで随時連絡を入れています。

5. その他

①学校ボランティアへの参加について

小学校、中学校、特別支援学校等でのボランティアの募集がある場合もあります。教職課程から随時案内しますので、ぜひ参加してください。

②教職課程窓口、こども発達学科からの連絡・掲示

主に情報ポータル、掲示板にてお知らせしています。見逃さないように各自常に確認するようお願いいたします。

③教職課程科目単位確認票

単位確認票は今回提出の必要はありません。各自活用してください。